

県内の少年非行(平成30年中)

兵庫県警察本部少年課

注: 数値は、平成29年は確定値、平成30年は暫定値である。

1 県内の非行少年等の概況

平成30年中、県内で検挙・補導した非行少年(犯罪少年、触法少年及びぐ犯少年の総称)は2,238人で前年(2,416人)に比べて178人(7.4パーセント)減少、不良行為少年は17,975人で、前年(29,500人)に比べて11,525人(39.1パーセント)減少している。

区分	年別	平成30年	平成29年	増減	
				人員	率(%)
非 行 少 年	犯罪少年	1,325	1,457	-132	-9.1
	触法少年	467	494	-27	-5.5
	計	1,792	1,951	-159	-8.1
	特別法犯				
	犯罪少年	227	235	-8	-3.4
	触法少年	65	64	1	1.6
	計	292	299	-7	-2.3
	ぐ犯少年	154	166	-12	-7.2
	合計	2,238	2,416	-178	-7.4
	不良行為少年	17,975	29,500	-11,525	-39.1

2 刑法犯少年包括罪種別の状況

区分	年別	平成30年		平成29年		増減 人員	減 率(%)
		構成比(%)		構成比(%)			
刑法犯少年		1,792	100	1,951	100	-159	-8.1
凶悪犯		35	2.0	20	1.0	15	75.0
粗暴犯		357	19.9	320	16.4	37	11.6
窃盗犯		955	53.3	1,160	59.5	-205	-17.7
知能犯		68	3.8	34	1.7	34	100.0
風俗犯		36	2.0	51	2.6	-15	-29.4
その他		341	19.0	366	18.8	-25	-6.8
うち占離		138	7.7	158	8.1	-20	-12.7

3 刑法犯少年学職別の状況

区分	年別	平成30年		平成29年		増減 人員	減 率(%)
		構成比(%)		構成比(%)			
総数		1,792	100	1,951	100	-159	-8.1
未就学							
小学生		216	12.1	247	12.7	-31	-12.6
中学生		561	31.3	618	31.7	-57	-9.2
高校生		499	27.8	566	29.0	-67	-11.8
その他学生		92	5.1	86	4.4	6	7.0
有職		259	14.5	284	14.6	-25	-8.8
無職		165	9.2	150	7.7	15	10.0

4 初発型非行の状況

区分	年別	平成30年		平成29年		増減 人員	減 率(%)
		構成比(%)		構成比(%)			
総数		850	100	1,058	100	-208	-19.7
万引き		467	54.9	555	52.5	-88	-15.9
オートバイ盗		87	10.2	129	12.2	-42	-32.6
自転車盗		158	18.6	216	20.4	-58	-26.9
占有離脱物横領		138	16.2	158	14.9	-20	-12.7
刑法犯少年に占める率(%)		47.4	—	54.2	—	-6.8	ポイント

※ 少年非行のその他の特徴

- 全刑法犯検挙・補導人員の13.9パーセント(前年対比-1.3ポイント)を少年が占めている。
- 刑法犯少年のうち窃盗犯が最も多く、全体の53.3パーセントを占め、次いで粗暴犯の19.9パーセントとなっている。
- 不良行為少年では、喫煙(10,523人)と深夜はいかい(5,486人)が全体の89.1パーセントを占めている。